

日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)を活用した 評価指標の設定と推進について

資料2-1

淡路島総合観光戦略の推進状況を客観的に評価できるよう、JSTS-Dから観光戦略の推進に必要なガイドライン項目を抽出し、アクションプランごとに対応させ、当該アクションプランに基づく取組の評価に活用する。

<概要>

- 1 淡路島総合観光戦略のアクションプラン147項目に対し、別紙のJSTS-Dガイドライン項目のうち、関連のある47の中項目をあてはめる。
- 2 アクションプランに基づく取組の所管部署は、あてはめられたJSTS-Dガイドライン項目の趣旨を踏まえ、実績を自己評価する。
- 3 自己評価については、「JSTS-D達成度」、「事業の進捗度」に分けて行う。

<参考>JSTS-Dのガイドライン概要

- A 持続可能なマネジメント（16項目）
観光地経営、モニタリング など
- B 社会経済のサステナビリティ（8項目）
効果測定、受入環境整備 など
- C 文化的サステナビリティ（8項目）
景観や文化遺産の保護 など
- D 環境のサステナビリティ（15項目）
自然遺産保護、資源の管理 など

【JSTS-D達成度】

- Ⅲ：おおむねJSTS-Dに沿って事業を実施
- Ⅱ：一部JSTS-Dに沿って事業を実施
- Ⅰ：あまりJSTS-Dに沿って事業を実施していない

【事業の進捗度】

- a：計画以上に進捗
- b：おおむね計画どおりに進捗
- c：あまり進捗していない

アクションプランに基づく取組の評価（イメージ例）

戦略	施策	概要	所管	JSTS-D項目	2023年度実績	自己評価
基本	2025年「鳴門の渦潮」国際シンポジウムの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・鳴門の渦潮の顕著な普遍的価値を発信する。 ・現地ツアー開催により淡路の食・歴史・文化を国内外に発信する。 	交流渦潮課(渦潮)	C8 観光資源の解説 観光地において、解説を含む適切な情報が提供されていること	〇〇〇...	II b
戦略1	多様なガイドの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・スポット限定のボランティアガイド・プロガイド、スループロガイド・多言語対応プロガイド(3市連携)の養成を実施する。 ・インバウンド向けにはファムトリップに合わせ模擬ガイドを実施する。 ・育成にあたってはガイド向けガイドブック(教本)を作成し、クオリティの統一に努める。 	観光協会	<p>B7 安全と治安 犯罪、安全性、健康被害などの監視、防止、公表についての旅行者と住民の双方に対応する体制があること</p> <p>C7 文化遺産における旅行者のふるまい 特に配慮が必要とされる場所における旅行者のふるまいについて、地域住民の声を反映した行動規範がリストアップされ、旅行者に向けて周知されていること。</p> <p>D3 自然遺産における旅行者のふるまい 特に配慮が必要とされる場所における旅行者のふるまいについて、行動規範がリストアップされ、旅行者に向けて周知されていること。</p>	〇〇〇...	

<JSTS-D達成度>
 III: おおむね着眼点に沿って事業を実施
 II: 一部着眼点に沿って事業を実施
 I: あまり着眼点に沿って事業を実施していない

<事業の進捗度>
 a: 計画以上に進捗
 b: おおむね計画どおりに進捗
 c: あまり進捗していない